



テーマ ふるさと方県 つながる絆 ～みんなで参加 広がる笑顔～  
方県小学校PTA 小枝保彦 西家義人 豊吉恵 小川奈美 辻田仁奈 豊吉美和

## 1. 方県の紹介

岐阜市の北部に位置する方県は、山や田畑に囲まれ自然に恵まれた地域です。岐阜市立方県小学校は、明治6年に創立し5年後には創立150周年を迎えます。現在は全校児童数88名で岐阜市では2番目の小規模校です。

## 2. これまでの取り組み

昨年度より運動場の側溝清掃活動や、大正池の清掃活動など親子の絆を深める活動に力を入れてきました。

## 3. 方県の地域性

方県は昔から地元に住んでいる人が多い地区です。子ども達は普段の生活の中でおじいちゃんおばあちゃん世代の人達や地域の人達と関わり、親世代だけからでは得られない経験や生活の知恵、愛情などを知らず知らずのうちに得ることができていると感じます。

## 4. 地域住民・卒業生・保護者の支援

方県小学校は、地域・卒業生・保護者の方々の協力をうけて様々な学習活動を展開しています。

地域の方からの学習支援ボランティア活動を「地域先生」と呼び、書道や家庭科のミシン、消防団見学、伊自良川学習、茶道や俳句などを教えてもらいます。

方県小学校を卒業した岐北中学校の生徒が、振替休業日を利用して本の読み聞かせをしてくれます。

## 5. 新たな活動

親しみやすく、より多くの保護者が少しずつの負担で活動できるという構想のもとに保護者による学習支援ボランティア「ペアレントサポート」(以下ペアサポ)を立ち上げました。

ペアサポは、学校と保護者の間のコーディネーターをPTA本部役員が兼ねます。ペアサポの内容については学校側と相談し、学習相談日のサポートを依頼されました。

4月下旬のPTA総会時に保護者の方々に向けて説明をしました。初めて行くことだったので分かりやすく伝えるために、本部役員と教頭先生による寸劇を交えて具体的に説明しました。



ペアサポの活動は、LINEアプリを利用してペアサポグループを作り、登録してもらいます。できるだけ多くの方にグループ登録して頂くことを目標にしました。このグループは、ペアサポの連絡のみに使う専用LINEグループです。学校行事等でお会いした時に

一人一人声を掛けて説明をして、承諾をいただき登録してもらいました。

LINEアプリでは、今月の予定をお知らせしてそれに対して返信をいただきます。登録者全員が情報をリアルタイムで共有できます。返信がない場合は二日前くらいにもう一度連絡しそれでも誰も都合がつかない場合は、本部役員が行っています。

5月～11月までに12回活動日がありました。児童は多い時で25人、

平均で15人くらい来ました。初めは本部役員ばかりだったペアサポも6月頃より徐々に保護者の方にも参加して頂けるよ

うになり、中にはお父さんの参加もありました。

活動をさらに広めていくために、学校だよりの中で紹介していただいたり、広報委員会をお願いをして学校の広報にも記事を書かせてもらいました。



## 6. ペアサポの今後

学習相談日の時間帯が昼間の20分だけということのみなさんの都合がつきにくいということが課題ですが、保護者の方々にあまり負担をかけずやっていたりける活動としては、これくらいがちょうどよいのかなとも思います。

来年度以降も長く活動を続けていくためには、「行ってみようかな。でもめんどうくさいな、大変そうだな」と思っている保護者をどうやって来てもらえるようにしていくのが最大の課題です。年に1回くらいなら行ってもいいかと思ってもらえるには、ペアサポの魅力と思えたことをどんどん発信して広めていくことが必要だと考えています。

みんなが少しずつ関わっていくことで、親も気づき成長する。子ども達もうれしい。みんなが笑顔になれます。ふるさと方県は、みんなの絆でつながっています。

